

クローズ  
アップ  
vol.11

輝く

# リケジョ

Ayako Inoue

ホソカワミクロン株式会社

粉体システム事業本部 技術統括部

東京技術部 技術3課 医療プロジェクトチーム

井上 あやこさん

2014(平成26)年、ホソカワミクロン株式会社に入社した井上あやこさん。粉体処理システムのエンジニアとして製薬プラントのスペシャリストへの道を歩み始めた彼女の魅力に迫る。

「大学では基礎研究を生産設備にスケールアップする化学工学を専攻しました。その中の『粉の研究室』で、工場から排出される灰の中から亜鉛を取り出してリサイクルする装置を作り、実験を繰り返していたので大学時代から粉まみれになっていました」と笑顔で語る井上さん。大学時代の研究内容に合致する、粉体処理システムの開発・製造などで知られるホソカワミクロン株式会社に入社した。「大学では手作りの機械を机の上に設置して実験していたのですが、なかなか良い結果が得られませんでした。そこで粉を専門とする会社なら、もっとすごいことができるのではと思い志望しました」。

会社では大学の実験室とは全くスケールの違うプラントなども製造することから、入社後に2年間の研修を受けた。

「粉碎機などの機械に触れるのも初めてで、その分解や組み立てを通して仕組みを学び、クレーンやフォークリフトを使用しながら業務を行いました」。

井上さんが配属されたのは医薬品メーカーのプラントを担当する部署だ。「医薬品は体の中に入るので安全性を最優先して設計します。また、提出する書類には厳密さが求められ、全てにおいて慎重に取り組んでいます」。井上さんは先輩社員と一緒に日本全国の製薬メーカーへ出向いている。「粉にする対象が医薬品の原料であるため、当社に持ち込めないことが多いです。その場合はテスト機を貸し出し、お客様の元で納入する機械の仕様を絞り込んでいきます。機械の設置や使用方法の説明などで出張する機会は多いですね」。

製造する医薬品の種類や粒子径、設置スペースなど諸条件を綿密に打ち合わせて、オーダーメイドで粉体システムを設計していく。「医薬品業界では、機器を1回使うと、その都度分解・洗浄するので、容易に分解できることや水が溜まりにくいことなどメンテナンス性を考慮した構造が求められます。更に、現場で生じた課題にも対応するなど、先輩方の仕事を見ながら日々学んでいます」。

最後に井上さんの今後の目標について聞いてみた。「まず、原材料の供給から製品になるまでの全プロセスを自分一人で設計できるようになりたいですね。粉体プラントを設計する上の知識をしっかりと持ち、納めるべき機械・配管・冷却系・計測機器などを統合し、根拠を持ってお客様に提示できるようになりたいです」。

上司から  
ひと言



ホソカワミクロン株式会社  
粉体システム事業本部 技術統括部  
東京技術部 技術3課長  
落合敬之さん

いつでも笑顔で仕事に取り組みながら  
女性ならではの視線も生かして活躍してほしい

彼女は入社から2年間の研修後、医薬品関係の機器を専門とする部署に配属されて約半年が経過しました。難しい仕事でもニコニコと笑顔で取り組む性格は素晴らしいと思います。製薬会社の現場は女性の割合も多いので、粉体システム機器をメンテナンスする際に分解する部品を女性でも扱える重さにするなど、女性ならではの視点が求められる職場です。これから経験を積み重ねて一本立ちできるよう頑張ってください。

## リケジョの歴史

我が国の女性工学博士の草分けの一人、佐藤公子さん。家族の支えを受けながら、東京工業大学在勤中の1962(昭和37)年に38歳で博士号を取得しました。その後は電気通信大学で教鞭をとり、金属材料・機械工学分野の教育研究に貢献しました。



佐藤 公子さん

所蔵: 東京工業大学